



小幡 尚孝

三菱UFJリース  
特別顧問



エ  
ネ  
ル  
ギ  
ツ  
シ  
ユ  
な  
街  
・  
ニ  
ュ  
ー  
ヨ  
ー  
ク

2002年に東京三菱銀行(当時)の米州本部長としてニューヨークに赴任した。

それまで買収・提携や起債などで出張は多かったが、海外勤務はなかった。それが55歳を過ぎてニューヨーク駐在をと言われたときには少しばかり驚いた。当時の三木頭取に、「打診なら遠慮したいのですが。適任者は他にいます」と言ったら、「内示と考えてくれるとありがたいのだが」と言われてしまった。

9.11テロからまだ日も浅く、要所にライフル銃を抱えた州兵がいた。中南米累積債務問題や多額の航空機不良債権を抱

えていたが、日本も金融業全体が大変だった時代。2年間目先を変えてもらったという意味で、銀行にお礼を言うべきかもしれない。

合衆国外にも、カナダ、メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、ベネズエラ、チリに現地法人や支店などがあり、大陸を行き来した。ニューヨーク連銀総裁のガイトナー氏とも、時に意見交換していた。



氏は後に財務長官になる。

仕事はチャレンジングだったが、プライベートでは美術館巡りに加え、ミュージカルやオペラ鑑賞などを楽しめた。休日はメトロポリタン美術館やグッゲンハイム、フリック・コレクション、ノイエ・ギャラリーなどに通った。家内と二人で、イーストサイド48丁目の自宅から時には歩いて行った。

写真は、ブルックリンの小学校で。社員ボランティアと教室のペンキ塗りをした。皆、達成感とともに笑みを浮かべている。ただ、右上の白いプレートに「DRUG-FREE SCHOOL ZONE」の文字が。米国の悩める一面も垣間見た。もう一枚は、帰任の際、ナショナルスタッフ一同からヤンキースのユニフォームをプレゼントされたとき。うれしいサプライズだった。

今でもニューヨークには足を運びたくなる。あのエネルギーとダイナミックさには独特の魔力があるのかもしれない。

